

令和4年度第1回北海道釧路・根室地域公共交通活性化協議会 議事録

- 日時 令和4年8月3日(水) 13:30~14:40
- 会場 標茶町コンベンションホール ういず
- 出席者
 - 委員 23名中21名出席(別紙のとおり)
 - 事務局 釧路総合振興局
 - 根室振興局

○ 会議内容

1 開会

- ・国の法改正により公共交通計画策定が努力義務化され、さらには乗合バスの運行国庫補助と連動化される形となったことから、釧路地域、根室地域を対象とした公共交通計画を策定するために本日、協議会を設立するとともに、計画策定に向けた議論を進めていきたい。
- ・地域公共交通計画は持続可能な地域旅客運送サービスの確保や各地域にとっても望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにするもの。今回策定を目指す釧路と根室を対象とする地域公共交通計画は、複数の市町村に渡り広域運行されるバス路線等を位置づける広域計画で、各路線の課題や路線の役割を踏まえ、今後5年間の地域旅客運送サービスの全体像などを示すもの。
- ・皆様の承認を経てまずは協議会を設立した後、広域計画の策定に向けた進め方や今後のスケジュール等について協議させていただきたい。

2 議事

(1)北海道釧路・根室地域公共交通活性化協議会規約(案)について

【資料1関係】

事務局から資料により説明。

【質問・意見等】

質問・意見等なく、規約案のとおり決定。会長が欠席の為、以降、副会長が進行する。

(2)事務局規程、文書管理規程など各種規定の制定について

事務局から資料により説明。

【質問・意見等】

質問・意見等なく、案のとおり承認。

(3)釧路・根室地域における地域公共交通計画、広域計画の策定に向けた進め方について

【資料2関係】

事務局から資料により説明。

【質問・意見等】

◆弟子屈町

・当町では現在、地域間幹線系統は運行していないが、町として広域計画に対しどのように意見を提起していけばよいか。

◆事務局(回答)

・これまでの町内での計画立案における経験を踏まえてのアドバイスなど、バスと鉄道との連携などいろいろな視点で、広域という観点でのご意見をいただきたい。

3 その他

<交通事業者からの発言>

◆阿寒バス

- ・前年から比べると増収傾向。2019年度比では70%程度の収益となり、回復には程遠い状況となっている。
- ・阿寒線、鶴居線については乗客が徐々にではあるが増えている。
- ・釧路羅臼線は前年数値を上回っているものの厳しい状況。

◆くしろバス

- ・公共交通の確保維持について、特に地域間幹線系統路線、広域交通路線はこれからどのようにして確保、維持していくのかという点が難しい状況となっている。
- ・コロナ影響により市内路線は約16%減収しており、2019年以前の状況に戻すのは非常に厳しいのではと考えている。
- ・釧路管内は人口が減っており、広範囲での人口分布となっている地域でどのように公共交通を維持確保していくのか、国や道の要綱を見直していかなければ厳しくなる。

◆根室交通

- ・前年に比べると路線収入は増収だが、コロナ前の実績には戻ってきていない。
- ・現在の利用者にとっては欠かすことのできない交通機関であるので維持するためにも利用増につながる取組が必要でないかと考えている。
- ・個人の旅行客が増えてきており、路線に乗っていただくようなPRも必要。

<各市町村からの発言>

◆釧路市

- ・釧路市でも先日協議会があったが、話題として路線の維持、見直しについて意見が出るものとする。
- ・乗降調査などのデータを把握した上でダイヤ調整をしたなど、リアリティをもった変更を行うことが出来たということがあったので広域計画を策定する際にもこのような取組が必要ではないかと考えている。

◆根室市

- ・根室市の地域公共計画は策定に至っていない現状。本年4月に協議会を立ち上げ、今後は乗降調査、地域懇談会を通じ市民ニーズの把握に努めていく。
- ・利用が少ない路線や様々な交通手段が重複している区間も存在しており、交通事業者が抱えている乗務員不足の対応等、自治体負担の軽減の観点からも効率化を図る必要があると認識している。
- ・釧路・根室地域公共交通計画との整合性を意識しながら市の計画の策定に向けて情報共有を図って参りたい。

◆中標津町

- ・町の地域公共交通計画を策定すべく、活性化協議会を4月末に立ち上げた。町内路線に関する議論を進めているところ。
- ・単町だけの話ではなく中標津を経由する路線も多く、釧路、根室広範囲に渡っての広域計画も同時進行しているので、広域計画の方向性も本町の計画に記載していく予定。

<全体の総括>

◆北海道運輸局釧路運輸支局

- ・交通計画は法律の改正によって努力義務化され、各自体の皆様も取り組んでいただいているところとは思いますが広域路線の必要性、役割、位置付けを皆さんと考えていくこととなる。
- ・利用者の方々の声をまずは聞いてみる、反映させるというのはやっぱり一番大事なことと
思っているので、声とか考え方を絞ることなくどんどん出し合って交通計画の案を膨らま
していったら、より重要なところを残していくような形で絞り込んでいくこととなる。

4 閉会

- ・副会長から謝辞を述べ、閉会。